

めぐりつと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E-mail miraikenshiwa@mirai.com

ダンボールコンポスト講習会開催！.....

9月27日、紫波町ごみ減量女性会議の小野京子さんを講師に迎え、講習会を開催した。参加者は、興味はあっても「どうやって作るんだろう」、「匂いがしたらいやだなあ」、「置き場所は？」などという不安を持ちながらの参加となったが.....

講師の小野さんは、参加者の不安を「大丈夫！大丈夫！」と笑顔で打ち消し、「台所のすぐ脇に置いているから、雨の日でも外に捨てに行かなくて済むし、いやなおいもしないから！」と。

実際に参加者が持ち寄ったダンボールを使いコンポストづくりから始める。ガムテープでダンボールの四隅や持ち手の穴をふさぐだけで意外と簡単！皆さん器用にちゃちゃっと作っている。次は、ピートモス、もみ殻くん炭、米ぬか、えこ3堆肥等を調合したものをダンボールに入れ、シャベルでかき混ぜると完成！虫が入らないようにするためのふたは、バスタオルでもいいということで、それは家に帰ってから各自がダンボールにかけることにして、あとは、生ごみの入れ方、日常気をつけることなどを講師に質問。今晚からコンポストに挑戦だ！



【後日談】初めてダンボールコンポストに挑戦したお母さんの感想

あまり温度は高くないが、コンポストの中に入れた生ごみが数日するとなくなっていて感動！

町の集積所に生ごみを出しに行かなくなった。

虫はついていないし、においも気にならない。



平成の森～動物と共生する森を創ろう！～.....

10月3日、山王海ダムの奥にある町有林平成の森において、今年で8年目になる植樹活動を開催した。一昨年あたりからリピーターが増え、今年は3～4歳の子を持つ若い親御さんも参加してくれた。毎年参加し、自分たちが植えた木の成長を見守り、楽しみにしてくれたらと思う。そして、大人になった時に、自分たちの子どもを連れて遊びに行ける思い出の場所になってほしいなあと思っている。

8年前に植えたクリやコナラの木に実がいっぱいになっていた。平成14年に植樹した中学生は、20歳を超えている。どうか来年は、この地を訪れてほしいものだ。



～わたしのひとこと～

佐々木 玲子さん(日誌在住)

世の中には、物があふれているばかりではなくパソコン、携帯電話の普及、マスメディアの発展による情報もあふれています。十分な判断力も持たない子どもたちまでもあらゆる情報を知ることができるようになりました。周りの迷惑も考えずに携帯電話を使用し、言葉をかわずよりもメールにたより、マスメディアから流れる情報をそのまま信じてしまう、このような状況に憂いを感じているのは昭和二桁生まれだからでしょうか。

私たちは、思いを伝えるということは、相手の目をしっかりと見て話をし、相手がどんな気持ちで受け止めているか、相手の体全体から読み取

ることによって次の会話もスムーズに進めることができ、それが人間関係のルールだと教えられてきました。

物事の理解にもっとも必要なことは言語能力であり、言葉には日本人の文化や価値観がたくさんつまっていると思います。

よき人間関係を保っていくためにも言葉での意思疎通を大切にしていきたいと思いますし、メールが優先される社会になってほしくないと思うこの頃です。

今回は、菱川美子さんにバトンタッチ！



行雲流水(14) 心の痛むことばかり

このところ毎日熊や猿の報道が絶えない。人里に下りて来て人々に危害を与える熊や、「噛みつき猿」と称して、通り魔のように何人にも噛みついていく猿。襲われた人々は理屈も何もなく、「ただもつこわかった」に違いない。自分が襲われてもきつとそう。だがテレビの画面に、捕獲されたり射殺されたりした彼らの姿が映し出される度に、正視出来ないような気持ちになるのはなぜだか。少し前、宮崎県で殺処分される牛の報道が続いた時も、画面に牛が映るだけでむごさの余り吐き気がし、慌ててスイッチを切ったものだ。人間を含めた生き物がこう簡単に殺されていく場面を、これほど茶の間の画面に流し続けて、これから育つ子たちに、影響が無いはずはあるまいと思ってしまう。熊や猿が今年人里に多く下りて来るのは理由があるという。昨年は山の木々の実が豊作で自然繁殖したが、一転、今夏の異常気象で木の実は大不作、飢えに苦しみ、食べ物求めて下りて来るのだとか。お願いです神様、山に食べ物……、何も出来ぬ自分を横に置いて、祈るようにそんなことを思う日々。(三)

イベント情報！

みんなで考えよう 未来の“水”

上下水道循環フォーラム開催！

日時 11月6日(土) 13時～17時

会場 盛岡南ショッピングセンターナックス
ナックスホール

内容 基調講演
パネルディスカッション
企画展示・ポスターセッション

参加費 無料

主催 紫波町

循環型まちづくり施設見学会

日時 11月9日(火) 9時～12時

コース 上平沢小学校、えこ3センター、清掃センター

集合 サンビレッジ紫波 8時45分

定員 25人(先着順)

参加費 無料

締切 11月2日(火)

主催・申し込み

NPO法人紫波みらい研究所

電話 671-2244

「めぐりっと紫波」は、紫波町環境課の委託事業として発行しています。